

# 結核通信

(施設関係者の皆様へ)

令和4年度号 令和4年11月発行  
兵庫県西播磨県民局赤穂健康福祉事務所（赤穂保健所）  
地域保健課 発行 電話：0791-43-2321

日頃から、結核対策業務にご協力いただきありがとうございます。  
2021年結核の年報集計によると罹患率は人口10万対9.2となり**日本は結核低蔓延国**になりました。しかしこれは①新型コロナウイルス感染症への感染の懸念から受診控え、②健康診断受診者の減少、③接触者健診（特に家族外の接触者）の停滞による患者発見の減少が考えられます。一方①入国制限による外国出生者の減少、②新型コロナウイルス感染症対策として実施された「三密の回避」により新規感染が減少した可能性から実際の結核患者数が減少したことも考えられます。いずれにしても結核は依然として我が国の主要な感染症であり、引き続き着実な対策が求められています。

令和3年の赤穂健康福祉事務所（保健所）管内の結核の状況についてまとめましたので、結核通信としてお知らせします。

## ■管内の状況

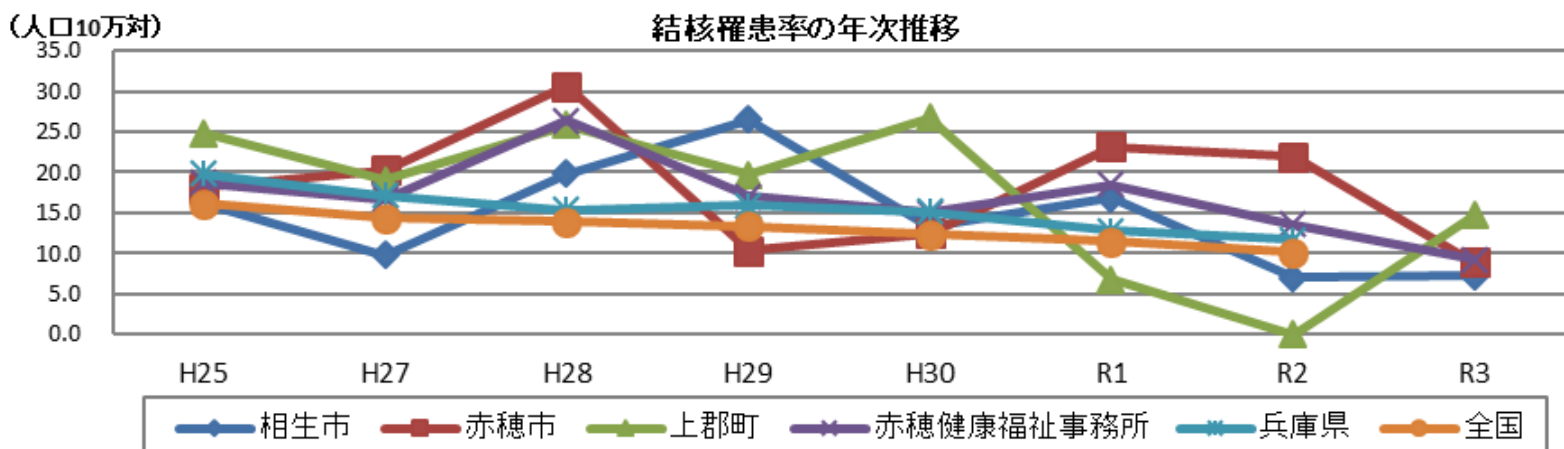
(1) 令和3年新登録結核患者数

- ①管内の結核の罹患率（人口10万対新規登録患者数）は、年によって変動しますが、ほぼ兵庫県並の罹患率で、年々微減状況です。直近の令和3年には、11名の新規登録患者が発生しています。
- ②新登録患者の年齢をみると、全てが60歳以上の高齢者です。高齢患者の増加に伴い独居や社会福祉施設等の利用者の増加、また認知症や結核以外の身体疾患を併せ持つ人の増加等、個別の支援課題への対応が求められています。

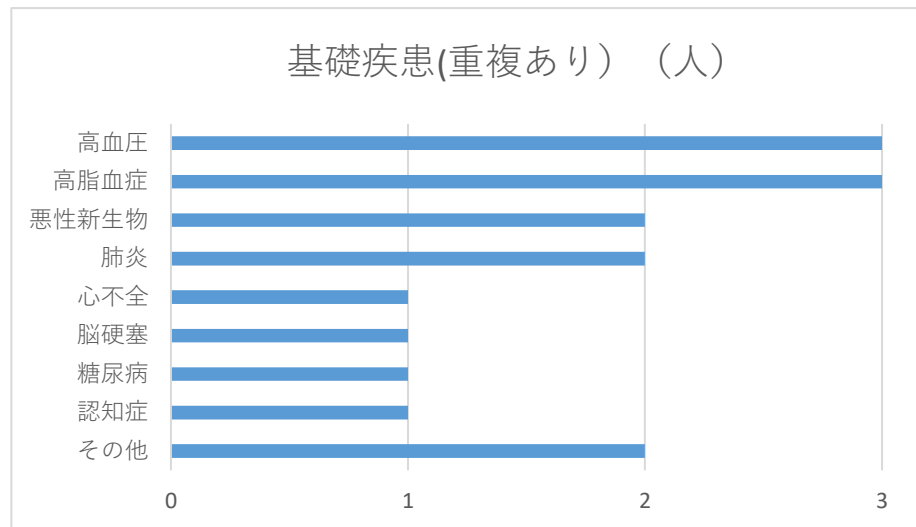
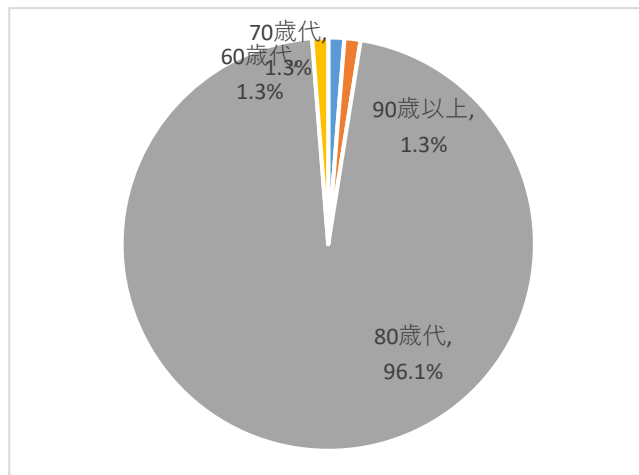
	活動性結核						(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性				肺外結核	
		総数	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他		
相生市	2	2	2	0	0	0	0
赤穂市	4	2	2	0	0	2	2
上郡町	2	2	1	1	0	0	1
赤穂健康福祉事務所管内計	8	6	5	1	0	2	3

患者数は前年から8人減少（活動性肺結核4人、潜在性結核感染症4人）

(2) 活動性結核罹患率推移



## ■新登録結核患者(潜在性結核感染症を除く)の状況



- ① 8人中7人(87.5%)が高血圧、高脂血症、肺炎等他疾患で医療機関に通院中でした。
- ② 定期的に医療機関を通院していたが、結核の診断までに2ヶ月以上要した患者がありました。
- ③ 塗抹陽性患者5人のうち、特養入所中1人、在宅サービス利用中の患者が3人あり、延べ78人に対し接触者健診を実施しました。そのうち感染が判明した人はありませんでした。

## ■赤穂健康福祉事務所の取り組み

- ① 疫学調査を実施し、感染源や感染経路の究明や、接触者健診の企画及び実施を行い、要精密者には、早期の医療機関受診を勧奨しています。
- ② 服薬継続のアセスメント票の活用し、医療機関と連携したDOTSカンファレンスや定期的な所内カンファレンスを行い、地域DOTSの方法を選択し患者支援につなげています。
- ③ 住民や関係機関に対し、結核予防についての知識の普及啓発を行い、患者の早期発見を目指しています。
- ④ 感染防止対策として、結核患者発生時の確実な接触者健診の実施、結核患者との接触機会の多い高齢者ケアスタッフや医療従事者等への標準予防策の徹底等について啓発を行っています。

## 赤穂健康福祉事務所(保健所)からのお願い

- ① 高齢者は過去に結核菌に感染している方が多いため、健康管理の上で結核の発生に関して注意を払うことが必要です。高齢者の結核患者の中には典型的な咳・痰の症状がなく、食欲低下や倦怠感、食欲不振といった結核とは分かりづらい症状を主訴とする方も少なくありません。このような症状が続く場合には、早期に受診を勧め、胸部レントゲン検査を受けることが重要です。
- ② 職員健診は妊娠中など特別な事情がない限り、職員全員が胸部レントゲン検査を受け健康管理を徹底していただきますようお願いいたします。また、利用者(65歳以上)及び職員において「結核に係る健康診断(事業所)月報様式第43号」により赤穂健康福祉事務所への胸部レントゲン受診状況の報告をお願いいたします。

